

特定非営利活動法人トムトム

令和7年度

事業報告~~(案)~~

法人全体

1、基本理念

ハンディのある方とご家族が地域の暮らしの中でノーマライゼーションを実現するためには、利用者が選択できる豊かなサービスが必要です。トムトムはパーソナルサービスを提供するシステムの中で、年齢やその障がいの種別にかかわらず、利用者主体のサービスの確立をめざします。

2、運営方針

- (1) 利用者本人を主体とした個人の生活、活動の場と支援体制の充実
- (2) 利用者の権利擁護とサービスの向上を目指して、事故と虐待を防止し、権利擁護推進のための活動をすすめる
- (3) 地域の関係団体や施設等と連携、地域福祉のネットワークづくり
- (4) 職員の資質向上を目的とした研修や人事評価制度の見直し
- (5) 安定したサービスが提供できるよう、労働条件、職場環境等の整備
- (6) 適切な財務管理と会計処理に努め、信頼性の高い効果的、効率的な経営体制を目指す

3、重点課題

- (1) 安心できるより良いサービス提供の実現
 - ① 本人を尊重した個別支援計画の作成
 - ② 本人を主体とした実践の振り返り
- (2) 事業展開と今後の見直し
 - ① 就労支援事業の作業に伴う他法人との連携と、体制の強化
 - ② 就労支援事業の見直し
 - ③ 事業全体の中長期運営の見直し
- (3) 安定した運営の実現
 - ① 法人内事業所間の情報共有と連携体制の強化
 - ② 人事制度に伴うキャリアアップ制度の運用と見直し
 - ③ 人材育成のための職員研修の実施
- (4) 新型コロナウイルス等感染症発生時・自然災害発生時の業務継続計画の見直し
令和6年4月より制度として義務づけられた新型コロナウイルス等感染症発生時及び自然災害発生時の2つの業務継続計画（BCP）の策定について、事業所毎に計画書の内容の見直しを図り、足りない備蓄品や環境を予算立てしながら整備を行う。

4、 会議行事等(総会・理事会等)

※別紙2 年間スケジュール参照

会議名	種別	開催日	内容
監査	定時	令和7年5月20日	令和6年度事業に係る理事の業務執行状況及び法人の財産の状況の監査
理事会	第1回	令和7年5月30日	①令和6年度事業報告(案) ②令和6年度決算報告(案)及び監事監査報告
総会	定時	令和7年5月30日	①令和6年度事業報告(案) ②令和6年度決算報告(案)及び監事監査報告 ③令和7年度事業計画(案) ④令和7年度予算(案)
理事会	第2回	令和7年11月27日	①令和7年度上半期事業報告(案) ②令和7年度上半期決算(案)
理事会	第3回	令和8年3月26日	①令和8年度事業計画(案) ②令和8年度予算(案) ③規程改定(案)

5、 会員

正会員34名、賛助会員13件

6、 事業運営

事業所名		所在地	事業種別	事業(サービス)名	サービス提供地域	
本部		西真土		法人本部業務,総務(経理・労務・庶務)		
トムトム相談室		南原	障害福祉サービス	計画相談支援,障害児相談支援	茅ヶ崎市 平塚市	
茅ヶ崎支部	あいあいクラブ	萩園		放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 寒川町	
	からんころん			生活介護		
	とむ郎	香川		共同生活援助		
	モンキーポッド	萩園		茅ヶ崎市日中一時支援		
平塚支部	えぼっくハウス	南原		自由契約	生活介護	平塚市
	やなぎこんぶ	南原			就労継続支援B型	
	キャロット工房	西真土			平塚市日中一時支援	
	えぼハウ	御殿			放課後等デイサービス	
	ゆうゆうクラブ				移動支援	
	ぶんぶん	南原	個別支援(パーソナル)			

7、施設管理業務

(1)建物の状況

No	所在地	床面積	事業所
1	平塚市南原2-4-5 マイズビル1階	206.25 m ²	ぶんぶん,えぼっくハウス,トムトム相談室
2	平塚市南原2-4-5 マイズビル403号室	41.25 m ²	
3	茅ヶ崎市香川4-21-12	148.65 m ²	とむ郎
4	平塚市南原1-13-18	165.57 m ²	えぼっくハウス分室
5	平塚市南原1-13-18	120.00 m ²	やなぎこんぶ
6	平塚市西真土1-7-62	126.37 m ²	キャロット工房
7	平塚市西真土1-7-56	130.00 m ²	グリーン工房,本部
8	平塚市城所1382	162.47 m ²	アンス
9	平塚市御殿1-7-6	118.38 m ²	ゆうゆうクラブ
10	茅ヶ崎市萩園2336-2	198.78 m ²	からんころん
11	平塚市御殿1-33-21	59.52 m ²	えぼハウ
12	茅ヶ崎市萩園1602	198.74 m ²	あいあいクラブ,モンキーポッド

(2)駐車場の状況

No	所在地	台数	No	所在地	台数
1	茅ヶ崎市萩園1624	10 台	10	平塚市南原2-2-13	3 台
2	茅ヶ崎市萩園2336-1	14 台	11	平塚市南原2-4-7	5 台
3	茅ヶ崎市香川4-400-1	3 台	12	平塚市南原2-4-9	5 台
4	平塚市御殿1-7-17	4 台	13	平塚市南原2-192-2	2 台
5	平塚市御殿1-23-3	2 台	14	平塚市西真土1-1512-1	5 台
6	平塚市御殿1-1111-4	2 台	15	平塚市西真土1-1521-1	4 台
7	平塚市御殿1-112-3	8 台	16	平塚市西真土1-1512-3	1 台
8	平塚市南原2-3-11	1 台	17	平塚市西真土1-1421-1	2 台
9	平塚市南原2-8-14	4 台	18	平塚市西真土1-10-1421-1	2 台
合 計					77 台

(3)車両の状況

事業所	車両	事業所	車両
本部	1 台	キャロット工房	6 台
あいあいクラブ	3 台	ゆうゆうクラブ	3 台
モンキーポッド	2 台	からんころん	4 台
とむ郎	1 台	やなぎこんぶ	1 台
えぼっくハウス	11 台	トムトム相談室	1 台
合計			33 台

(4) 什器備品・リース

No	主な備品資産	台数
1	SAORI織機	3
2	リヤカー	1
3	パソコン(モニター含)	18

No	リース契約	台数
1	はちろう君(成型機)	1
2	まぜろう君(攪拌機)	1
3	オフィス電話	27
4	複合機	7
5	サーバー	2
6	パソコン(モニター含)	23
7	おりこうブログ(ソフトウェア)	1
8	MIRAIZ(ソフトウェア)	2

(5) ITソリューション

No.	商品名
1	OBC 人事奉行i11 人事管理システム
2	OBC 就業奉行i11 就業管理システム
3	OBC 給与奉行i11 給与計算システム
4	OBC マイナンバークラウド
5	OBC 勤怠管理クラウド
6	OBC 給与明細電子化クラウド
7	OBC 年末調整申告書クラウド
8	OBC 法定調書奉行i11 法定調書作成システム
9	障害者総合支援法対応コーディネートシステム 真(まこと)
10	ミスヘルパー 総合支援介護給付費請求システム
11	ミスヘルパー 預り金管理システム
12	TKC 会計情報システム FX4クラウド(社会福祉法人会計用)
13	SHIFTEE(シフティ) クラウド型シフト管理システム
14	おりこうブログ ホームページ作成・運用ソフト
15	サイボウズ グループウェア
16	SKYSEA Client View パソコン・IT機器・ソフトウェア一元管理システム
17	さくら連絡網 緊急時連絡用メール・アプリ配信システム
18	beat/active 社内ネットワーク構築・セキュリティ防御システム
19	Kintone WEBデータベース型の業務アプリ構築クラウドサービス
20	ささえるNAVI 車両運行管理・安全運転支援システム
21	invoiceAgent 文書管理
22	ITあんしんSPIII NASシステム
23	Microsoft365 Copilot
24	Microsoft Power Automate Free
25	Microsoft 365 Apps for enterprise
26	Microsoft 365 Business Basic
27	Trellix Endpoint Security(トレリックス エンドポイント セキュリティ)
28	SVバリューパック(サーバー保守料金)
29	ネットワーク機器あんしんパック

8、職員体制

令和8年3月末時点

	部長	課長	主任	リーダー	一般職	看護師	合計
常勤	2	4	5	4	12		27
嘱託					2		2
非常勤					64	4	68
派遣					5		5
合計	2	4	5	4	83	4	102

※別紙1 組織図参照

9、職員研修

研修名	開催日	内容
法人全体研修	6月7日	ご家族の想いを知り、権利擁護のあり方を考える 第1弾(虐待につながらない支援を考える) 講師:トムトム理事 松永徹氏 登壇:利用者ご家族
常勤職員研修	毎月第3水曜日 (8月を除く)	月次報告、研修、委員会
公開研修 (法人企画)	11月14日	どうする! どうなる? 成年後見制度 講師:又村あおい氏
法人全体研修	3月14日	ご家族の想いを知り、権利擁護のあり方を考える 第2弾 講師:トムトム理事 松永徹氏 登壇:利用者ご家族

10、内部会議の開催

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幹部会議	2	0	1	2	0	3	1	0	1	1	2	1
課長・主任会議	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
常勤全体会議	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
会計会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
労務会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

11、職員の福利厚生

- (1) 健康診断費用の助成(常勤職員と社会保険加入の非常勤職員が対象)
- (2) インフルエンザ予防接種費用の助成
- (3) 新人歓迎会・職員親睦会等の費用の助成→6月実施済み

12、役員数

理事6名、監事1名

13、苦情処理

(1) 苦情 1 件

14、総括

法人は、地域に根ざした障がい福祉サービスの提供を継続しながら、年間を通して安定的な事業運営と組織体制の強化に取り組んだ。利用者一人ひとりの尊厳を大切に、本人主体の支援を基本とした取り組みを各事業所で積み重ねてきた。

福祉・介護職員処遇改善加算については、「見える化」要件への対応を含め、計画的な制度運用を行った。法人ホームページでの情報公開、職員向けQ&Aの作成、資格取得支援制度の整備、キャリアアップシートによる目標管理などを通じて、職員の専門性向上と働きやすい職場環境づくりを進めた。

委員会活動においては、虐待防止・権利擁護、研修、IT、安全、衛生、広報など、各分野で年間計画に基づいた活動を実施した。特に「身体的拘束等の適正化」「虐待防止」「ハラスメント」をテーマとした研修を継続的に行い、職員一人ひとりの意識向上と支援の質の向上につなげた。

一方で、車両事故やひやり・はっと事例の報告が一定数見られ、安全管理における課題も明らかとなった。事故分析や情報共有を進めるとともに、啓発活動や研修を通じて再発防止に取り組み、送迎・外出支援における安全性の向上を図った。

業務効率化の面では、Kintone等のICTを活用した月報・事故報告のクラウド化、請求関係書類や給与明細の電子化などを進め、事務負担の軽減と業務の正確性向上を実現した。これらの取り組みは、今後の法人運営を支える重要な基盤となっている。

法人監査、理事会、総会は計画どおり実施され、組織運営の透明性と信頼性の確保に努めた。今後も、利用者・職員・地域社会の三者が安心して関われる法人であり続けるため、課題を共有しながら、より持続可能な法人運営を目指していく。

IT委員会

1、目的

IT環境整備の観点から職員のパソコン等のスキル向上を目指すとともに、職員間、事業所間の情報共有やファイル管理について、法人全体の管理統制システムの強化を目指す。

ITシステムを上手に活用して、請求システム、ファイル保管、ファイル管理の保守強化等、業務効率化を目指す。

2、重点課題

- ① ITセキュリティ関連規程の施行及び管理改定を行う。
- ② 書類等電子化による職員のITスキルアップ、及びITセキュリティ講習を企画実行する。
- ③ IT機器の電源やネットワーク環境、または職員のパソコン操作などのサポートを行う。

3、総括

ITを昨年よりさらに活用して、全職員対象のWeb研修をスタートした。また急激に進んでいるIT化に対して職員が困っていないかをアンケートで確認した。

Web研修については、導入当初はネットワーク環境未整備により、研修動画視聴と支援の時間調整が難しかったが、ネットワーク環境を整備したことで、支援の時間や質を維持しながら稼働時間内受講が可能になった。

今後は現在紙面管理をしているひやりはっと報告書、事故報告書の電子化をどこまで進められるか、調査・検討していく。

安全委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、安全委員会において、労働者の危険防止に対する対策や労働災害の原因および再発防止対策で安全に係るものに関することについて十分な調査審議を行う。

2、重点課題

- ① 各事業所にて作成、運用を開始したBCPについて、計画の見直しや改善を各事業所に促す。また、BCPについて理解を深める研修を実施する。
- ② 防災備蓄品の管理を引き続き行いつつ、ポータブル電源など必要な品物を精査し、各事業所毎に導入を検討する。
- ③ 地震・避難訓練の実施。各事業所の周囲の環境や職員配置、利用者特性に合わせたより効果的な訓練方法を検討する。

3、総括

①BCPについて、ハザードマップや職員・利用者名簿の更新を促し、各事業所取り組むことができた。また自然災害における安全対策の項目の更新も進めている。今後も随時BCPを最新の状態に保てるよう更新・見直しを行っていきたい。

②防災備蓄品について、不足分の確認や購入を行ったが、働きかけが遅くなってしまい、購入が年度末ギリギリになり、年度をまたいでの購入になった事業所もあった。時間的な余裕を持って進めていきたい。

③火災通報避難訓練、地震避難訓練については問題なく実施できた。各事業所での訓練時の課題を全事業所で共有できるようにしたい。

安全委員会(車両)

1、目的

法人所有車両の増加に伴い、事業所毎に管理担当者を選任するとともに、安全に運行、運転を行うための研修・情報共有・啓発活動を行い、車両事故ゼロを目指す。

2、重点課題

- ① 運転前後のアルコールチェックおよび運行前車両点検の実施状況の管理に注力する。
- ② 安全な車両運行にむけた意識向上を図るための啓発活動や交通安全・安全運転に関する講習を実施する。
- ③ 各事業所から上がってきた車両に関する事故・違反・苦情等及びひやりはつとを洗い出し、常勤会議内で報告するとともに、原因及び防止策の周知徹底に務める。

3、総括

- ① 運転前後のアルコールチェックや運行前点検は、管理方法の統一して各事業所ごとに実施した。
- ② 自動車学校での安全運転講習と、地域警察署に依頼しての交通安全講習を今年も実施した。各事業所向けの掲示ポスターについては、制度改正や時期的なリスクに配慮して作成し、啓発運動に繋げた。
- ③ 法人全体の車両に関する事故等については、必要に応じてドライブレコーダーも活用しながら常勤全体会議の場で内容を共有して事故防止に対する意識の向上を図った。また、新年度からの道路交通法改正の内容をの周知を事前に実施した。

衛生委員会

1、目的

労働安全衛生法に基づき、衛生委員会において、労働者の健康障害防止や健康促進のための対策について十分な調査審議を行う。

3、重点課題

- ① 感染症予防・食中毒予防の研修会実施。及び、熱中症予防に関して、ポスター配布など各事業所への啓発活動の実施。
- ② 利用者及び職員に対する危険や事故を未然に防ぐ為に、各事業所の建物・設備備品の安全・防災・衛生管理がされているかを確認する安全衛生パトロールの実施。
- ③ 生活習慣病予防・腰痛予防対策の検討・実施。
- ④ 感染症に係る業務継続計画の見直しや訓練実施の促し。

4、総括

- ・熱中症予防、感染症・食中毒予防に関する動画研修では、基礎的な知識と対処法を改めて学べる機会になった。
- ・事業所ごとに安全衛生パトロールを実施した。防災意識や事故を未然に防ぐ意識の向上の為に継続していくことが大事だと考える。
- ・BCP(感染症ver.)の見直しを各事業所に促しているが、まだ訂正等不十分な個所が見られるため、継続して周知する。
- ・生活習慣病予防は食生活からと考え、食事のレシピ動画を視聴。皆が取り組みやすい内容になった。

広報委員会

1、目的

広報誌・WEBサイト等を最大限活用し、法人のPR効果の向上、賛助会員の拡大につなげる。

3、重点課題

- ① 法人の理念や活動内容が適切に外部に伝わるよう、内容の充実を図る。また、プライバシーや個人情報に十分配慮する。
- ② 読者に興味を持って見てもらえるような掲載内容を考案したり、レイアウトを工夫する。
- ③ 定期的にホームページの更新を行い、新規利用者や新規職員の確保に繋げていく。

4、総括

広報紙について

- ・新たな記事の提案やアイデアなど、活発に意見交換ができた。
- ・掲載写真や文章のプライバシーや個人情報に十分に配慮した。
- ・見やすいレイアウトや配色を心がけた。
- ・写真だけでは読み取れない情景をなるべく文章で表現できるよう執筆した。

法人パンフレットについて

- ・内容が古くなってきているがまだ在庫があるため、更新・発行は次年度以降に実施する。

研修・権利擁護委員会

1、目的

- ① 研修 法人内外の研修を通じて職員を育成して仕事に対する意欲を引き出し、事業を効果的、効率的に進め、継続できる法人基盤を作っていくためのサポートを行う。
- ② 権利擁護 障がい者虐待の現状や障がい者の置かれている社会的環境を知り、障害者虐待防止法の理念や権利擁護の仕組みについて考え、障がいのある人がその人らしい生活を送るためにはどのようなことが必要であるか、職員個々の意識高揚を図る取り組みを行う。

3、重点課題

- ① 適切な支援が行われるよう、虐待防止のための研修や身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施する。また日頃から職員同士で支援のあり方を確認し、虐待等の防止に取り組む。
- ② 自然災害の発生時や感染症の蔓延時などに業務継続計画に沿った行動ができるよう研修・訓練を行う。業務を中断させない、または早期の復旧ができることを目指す。
- ③ メンタルヘルスや腰痛予防など、職員が心身ともに健康な状態で勤務ができるよう、研修を行っていく。

4、総括

各委員会が企画した研修動画の視聴やWEB研修の導入と合わせて、必須研修の受講をスムーズに実施できた。特にWEB研修については、事業種別に合った内容の動画を視聴し、業務に即した知識を学ぶことが出来た。6月と3月の職員全体研修は、利用者ご家族にご登壇いただき、利用者の生い立ちから普段の暮らしぶりなどについて直接お話を伺い、その想いに寄り添うとともに、利用者ご本人を中心とした、虐待につながらない支援のあり方、権利擁護のあり方を考え直す機会になった。

本部総務部(平塚市西真土1-7-56)

1、目的

法人全体の運營業務が円滑に進むように環境整備する。

2、業務内容

労務業務 人事、給与他

管理業務 法人設備、修繕、契約書の管理、固定資産管理他

庶務業務 公的文書の作成・届出・法務関係手続き他

経理業務 会計処理、請求書の支払い業務、納税、補助金の申請他

管財業務 車両管理、リース管理、保険管理他

請求業務 未収金請求、障がい福祉関係の請求他

本部業務 総会・理事会に係る業務、事務所申請他

3、職員体制

常勤職員4名(事業部長1名、総務部長1名、総務課長1名、一般職員1名)

非常勤職員3名

4、会議・研修

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
総務会議	毎月1回 年12回開催	日程などの情報確認、部内検討事項の審議

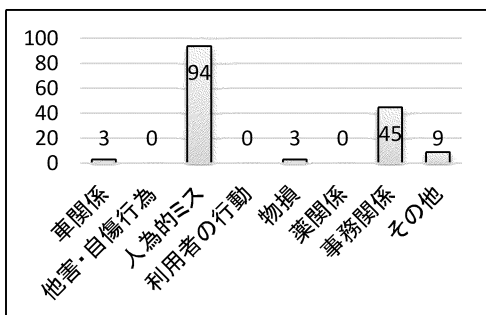
(2)外部研修

なし

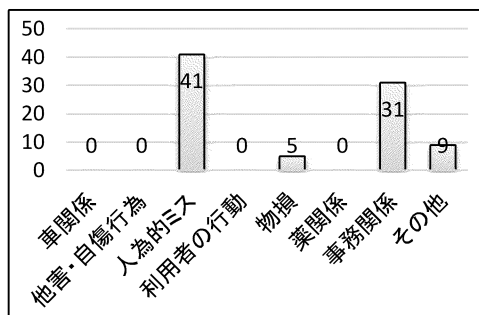
5、苦情・事故・ひやりはっと報告

0 件

(2)ひやりはっと 154 件



(2)事故 86 件



6、重点課題と目標

(1) 事故報告とひやりはっと報告の実行

総務内において、事故報告とひやりはっと報告を適切に行い、事故を未然に防いでいく。

(2) 労務の情報管理業務の精度向上

人事管理ソフトを有効活用し、職員の労務情報をより具体的で細やかに管理することが可能となったことで、業務の正確性と処理スピードの向上を図る。

(3) 安定した運営の実現

①顧問社会保険労務士と連携し、労働条件の適正化や労務管理の改善など、事業の健全な発達を目指すとともに、雇用の安定、職場環境の改善、仕事と家庭の両立、職員の能力向上を図るため、雇用関係助成金を積極的に活用していく。

②専門的なコンサルタントの助言と指導を受けながら、改定後の賃金制度の適正な運用と人事評価制度の精度向上を目指す。

③顧問会計事務所の助言や指導・経営アドバイス等を受けながら、公正な事業活動の更なる展開を目指す。

④事業所単位の自立的運営を目指して必要な人材の確保に努めるとともに、中堅職員の育成を強化する。

⑤労務関連の諸手続き、申請等のさまざまな事務処理の電子化を進め、事務の省力化と経費節減に努める。

(4) 請求事務

各事業所の請求事務担当者との連携し、月ごとの未収金管理が適切に行えるよう、引き続き管理を行う。また、収入においては経理との連携はもちろんのこと、入金管理を徹底し、事業所の担当者へ繋いでいく。

(5) リスク管理

問題が起きた時には、顧問社会保険労務士、弁護士との連携を図り、対処していく。

(6) 経費削減対策

消耗品等の削減はもとより、事務作業の効率化を法人全体で更に進めることによりコスト削減を図る。

(7) その他

各種規程・業務マニュアル等の整備、制定を進めて法人として組織統一を目指す。

9、総括

利用者請求書・領収書・代理受領額通知書と職員給与明細書等の配布を電子配信へ切り替え、利用者工賃の直接口座振込等を進めたことで、大幅な事務作業の省力化と手作業によるミスリスクが軽減された。また、毎年度末に労働基準監督署に提出している各種の協定書も電子申告にしたことにより事務作業時間の大幅な短縮になった等、電子化を進めたことで得られた成果は大きい。

一方、欠員になった経理担当者の補充は出来たものの就業時間が前任者よりも短いため、すべての業務の引き継ぎは出来ず、分担している他職員の負担増になっていることが課題である。

茅ヶ崎支部

1、 内部会議・研修

会議・研修名	開催日	出席者	目的・内容
茅ヶ崎支部常勤会議	5月8日 7月3日 9月11日 12月1日 1月19日	理事長 総務部長 常勤 嘱託	情報共有、課題検討

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	出席者	目的・内容
全国放課後連総会、記念式典	6月8日	事業部長	総会議案決議等

平塚支部

1、 内部会議・研修

なし

2、 外部会議・研修

会議・研修名	開催日	出席者	目的・内容
湘南西地区施設長会	9月,12月,1月	事業部長	施設見学、情報交換等

あいあいクラブ(茅ヶ崎市萩園1602 2階)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…小・中・高等学校に在籍し、市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～金

(4)定休日…(土曜日・日曜日・祝日・夏季休業日・年末年始休業日)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～17:30 長期学校休業日/9:30～16:30

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	241
件数	2,153
障害福祉サービス収入(単位:千円)	25,219

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者25名(男性22名、女性3名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	3	1	3	2	2	2	13
女性	0	0	0	0	0	1	1
計	3	1	3	2	2	3	14

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	0	0	2	3	3	2	10
女性	1	0	0	0	1	0	2
計	1	0	2	3	4	2	12

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	14	9	3	0	26		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	1	0	0	1			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	1	1	0	1	0	3

6、職員体制

常勤職員3名

(管理者1名(他兼務)、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員1名)

嘱託職員1名

(児童指導員1名)

非常勤職員6名

(児童指導員44名他兼務含)、指導員2名

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	5月15日	障がい福祉課からのお知らせ、グループワーク、令和6年度会計報告、令和7年度予算案
弘済学園ケースカンファレンス	6月12日	入所利用者についての情報共有
ユースボランティア茅ヶ崎	6月25日	夏季ボランティア受け入れの打ち合わせ
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	7月15日	茅ヶ崎市からのお知らせ、制度説明会・研修企画のグループワークなど
	9月16日	性教育に関する勉強会、障がい福祉課からのお知らせ、グループワーク等
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	11月6日	茅ヶ崎市からのお知らせ、制度説明会について、グループワーク等
	1月15日	令和8年度の体制案、障害福祉課からのお知らせ、グループワーク
	3月10日	市町村からのお知らせ、次年度にむけて役員選出、グループワーク

(3) 面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
利用者面談	4月～3月	49件	家庭、学校、放課後の様子確認、個別支援計画の修正等
モニタリング	6月～2月	4件	利用者の放課後の様子確認

(4) 研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
知的障がいのある方への支援	7月5日	知的障がいの概要及び支援のポイント
サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者実践研修	7月,9月	制度、サービス提供、人材育成の手法、多職種及び地域連携に関する講義及び演習
要配慮者利用施設における避難確保計画作成等について	8月4日	避難計画の作成など災害時の避難について

研修・講習名	開催日	内容
安全運転講習	10月1.3日	運転適性検査、運転技術の評価
交通安全講習会	10月15日	交通安全指導課による交通安全指導
発達障害専門相談員によるスキルアップ研修	10月22日	自閉スペクトラム症の方への支援を考える～真逆の感覚とどう向き合うか
トラウマインフォームドケア研修	10月24日	心の傷によって引き起こされる様々な影響について学ぶ
造形ワークショップ(相互理解を深める)研修	11月21日	子どもの表現支援と大人同士のコミュニケーションについて考える
相談支援、どうしたらいい？	12月7日	親はどう考えればいいのか？相談支援事業所はどうすれば？ 講師：又村あおい氏
事例検討会	2月4日	発達障がい専門相談員・事例検討の手法を学ぶ

(5)説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
避難訓練	6月17日	火災を想定した避難と通報訓練
ユースボランティア茅ヶ崎オリエンテーション	7月5日	ユースボランティア茅ヶ崎の受付、受け入れ日の確定など
ユースボランティア受け入れ	8月1～28日	ユースボランティア受け入れ
地震避難訓練	10月6日	地震を想定した避難訓練を行う
茅ヶ崎市放課後支援制度説明会	11月18日	茅ヶ崎市の放課後支援「放課後等デイサービス・日中一時支援」の利用に関する仕組み/制度を学ぶ

8、行事

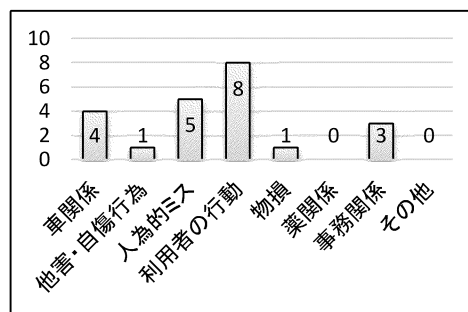
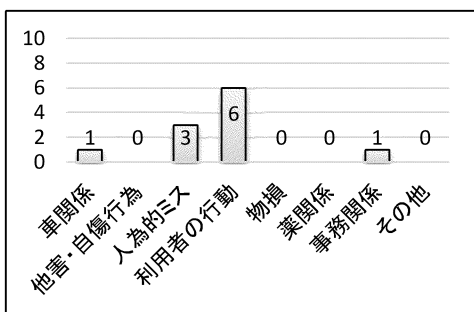
なし

9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはつと 11 件

(2) 事故 22 件



10、重点課題

- ① 職員と関わりながら楽しい経験を積み重ねることで、利用者の心身の成長を促す。
- ② ご家族との面談やヒアリングを通じた情報共有を図ることで、課題の共有と適宜必要な情報提供を行い「繋がる支援」を継続すること。
- ③ 制度に沿った書類の整備運用を滞りなく行うこと。

11、目標

- ① 利用者の様子に合わせた支援を継続し、社会参加の場面として地域施設の利用を増やすなど活動の幅を広くしたい。
- ② 「利用者は楽しく通う」「保護者は安心・安全に通わせる」ことが出来る事業所として、ご家族との信頼関係や繋がりを深めていきたい。
- ③ 事業所間での情報共有を通じて、地域での連携支援を図ってきたい。

12、総括

「社会参加」の一環として、長期休み期間中には公共施設・商業施設を利用する機会を積極的に作って出かけた。

面談等を通して情報共有や繋がる支援に向けた提案を行い、ご家族の生活に合った福祉サービスの利用を後押しすることができた。

関係機関との連携によって、ご利用者のニーズに合わせた福祉サービスの調整を行った。

からんころん(茅ヶ崎市萩園2336-2)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～15:30
- (6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	3,036
障害福祉サービス収入(単位:千円)	55,361
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	2,386
就労支援事業収入(単位:千円)	144

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者16名(男性9名、女性7名)

(2)年齢構成

21～51歳、平均年齢28.8歳(男性30.1歳、女性27.1歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	16	0	0	0	16			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	4	0	0	1	1	6	

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	1	4	4	9
女性	0	0	0	2	1	4	7
計	0	0	0	3	5	8	16

6、職員体制

常勤職員4名

(管理者1名(他兼務)、生活支援員3名(他兼務含))

嘱託職員1名

(サービス管理責任者1名)

非常勤職員15名

(看護師2名、生活支援員10名(他兼務含)、ドライバー3名(他兼務含))

7、会議・面談・研修等

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市障がい者連絡会	5月8日	関係事業所との情報共有
茅ヶ崎市福祉避難所説明会	5月15日	関係事業所との情報共有、オブザーバーで出席
担当者会議	9月26日	関係事業所と本人・家族同席にて情報共有

(3)面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
利用者面談	4月～3月	33件	個別支援計画振り返り、目標、ご本人の意思確認
支援内容説明	5月30日	1件	ご本人の生活習慣について
モニタリング	6月16日	1件	利用者担当相談支援員来訪

(4)研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
PCAGIP事例の手法を学ぶ	5月28日	PCAGIP事例検討
知的障がいの方の支援	7月5日	知的障がいの方の加齢による身体機能低下の予防法、日常能力を維持する工夫などについて
要配慮者利用施設における避難確保計画作成等について	8月4日	避難計画の作成など災害時の避難について
強度行動障がい支援者養成基礎研修	8月21,22日	強度行動障がいについて基礎知識を学ぶ
相談支援従事者初任者研修	8月26,27日	オリエンテーション、障がいがある人の意思決定について、ケアマネジメントの実践他
	9月8日	eラーニング研修、相談支援の基本的視点他
安全運転講習	10月1日	運転適性検査、運転技術の評価
相談支援従事者初任者研修	10月9,10日	ケアマネジメントプロセスに関する講義及び演習
強度行動障がいを優しく学ぶ	11月5日	強度行動障がいを学ぶ
茅ヶ崎市障害者施設連絡会 職員合同研修	1月25日	生活に医療を必要とする子どもと家族のための支援
2025 地域生活支援フォーラム	2月12日	支援の実践から広げる共生社会

(5) 説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
実習生受け入れ	6月2～5日	支援学校在校生実習
避難訓練	6月17日	火災を想定した避難と通報訓練
利用者契約	6月11日	新規利用者契約、説明
事業所説明会	7月15日	茅ヶ崎支援学校事業所説明会
地震避難訓練	10月21日	地震を想定した避難訓練を行う

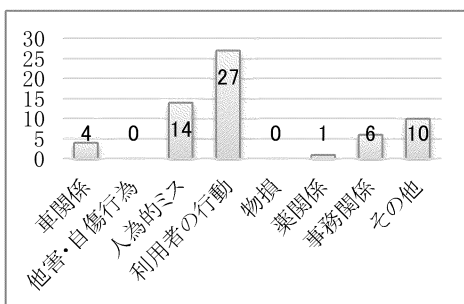
8、行事

行事名	開催日	内容
七夕見学	7月4日	平塚七夕まつり見学
夏祭り	8月(随時)	夏祭りを楽しむ
プール外出	8月～11月	プールを楽しむ
ボウリング	9月,2月	ボウリングを楽しむ
バス外出	10月14日	ともしび号で足柄サービスエリアへ外出する
クリスマスケーキ作り	12月25日	ロールケーキにデコレーションをして食べる
茅ヶ崎ダイバーシティフェス	2月28日	茅ヶ崎市立梅田小学校イベントに参加

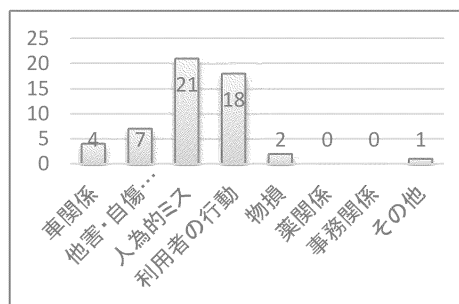
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 62 件



(2) 事故 53 件



10、重点課題

- ① 個別支援計画作成の際、本人同席にて意思を聞き取り、アセスメントシートの見直し・支援検討会議の記録を計画に反映し、情報共有する。
- ② 職員のスキルアップを目指し、研修などに積極的に参加する。
- ③ 新規利用者を積極的に受け入れる

11、目標

- ① 感染症予防対策を徹底し、利用者が安定して通所できるような環境を整える。また職員側も体調を整えて支援を行う。
- ② 近年の夏の酷暑に対応できる支援活動を検討する。
- ③ 季節ごとにイベントを企画し、いつもと違う環境で楽しめるよう活動の幅を広げる。

12、総括

- ① 面談を利用者ご本人も同席で実施した。上期は、ご本人が戸惑うこともあったが、下期の面談の際は慣れた様子で参加されていた。利用者に事前に写真などを提示して周知したことが功を奏した。
- ② 酷暑の夏は、可能な方はプール活動に出かけた。プール以外では、暑さ対策として室内での活動が多かったが、運動不足にならないように活動内容の見直しをすることが課題として残った。プールは室内で冬場でも利用できるため、運動不足解消の一環として次年度も年間を通して実施していきたい。
- ③ 身体的能力が低下している利用者が出てきており、個々の障がい特性によるものか、加齢によるものかの判断は難しいところではあるが、利用者の年齢・体力等に合わせて活動内容の見直しが必要である。

とむ郎(茅ヶ崎市香川4-21-12)

1、実施事業

共同生活援助

2、目的

障害者総合支援法に規定される共同生活援助事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、利用者が地域において共同して自立した日常生活または社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、食事及び排泄等の介助、風呂介助、余暇支援、相談、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)定員…6名

4、事業収入

	年間
開所日数	362
件数	1,953
障害福祉サービス収入(単位:千円)	24,190

※家賃補助は含んでいません

5、利用者構成

(1)利用者数

定員6名、契約者6名(男性6名、女性0名)

(2)年齢構成

30～51歳、平均年齢37.7歳(男性37.7歳、女性一歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	4	2	0	0	6			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	1	0	0	1	0	2	

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	0	4	2	6
女性	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	4	2	6

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
サービス管理責任者(常)	1	兼務
生活支援員(常)	2	兼務
世話人(常)	2	兼務
生活支援員(非)	7	兼務含
世話人(非)	5	兼務含
計	18	

7、 会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り
常勤会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
地域連携推進会議	12月18日	とむ郎について利用者の状況などを共有する
ケース会議	1月20日	利用者の様子について

(3) 面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
後見人面談	5月～11月	4件	利用者の様子について
利用者面談	5月～3月	12件	
モニタリング	11月11日	1件	

(4) 研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
交通安全講習会	10月15日	交通安全指導課による交通安全指導

(5) 説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
避難訓練	6月17日	火災を想定した避難と通報訓練
地震避難訓練	10月7日	地震を想定した避難訓練を行う

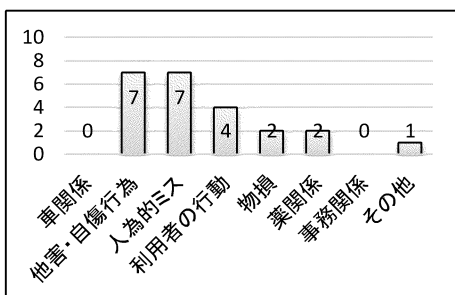
8、 行事

行事名	開催日	内容
誕生日会	5月7月8月10月11月	利用者の誕生日をお祝いする
大掃除	12月12,13日	大掃除

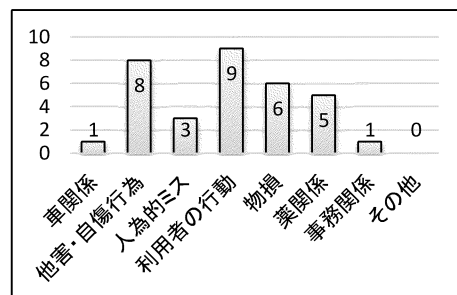
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 23 件



(2) 事故 33 件



10、重点課題

- ① 利用者の個性や意見を尊重して職員が支援出来るよう、障がい特性や権利擁護に関する研修受講の機会を増やし職員の支援力のスキルアップを目指す。
- ② 感染症対策や衛生面、環境面に配慮した、安心安全なグループホーム運営を目指す。
- ③ 近隣の方たちや地域の方たちと良好な関係を築けるよう努める。

11、目標

- ① 利用者の方々に安心、安全に過ごしていただくために、一人一人の特徴に合わせた支援を丁寧に行う。
- ② 利用者ご家族や関係事業所との連携を日々心がけ、スムーズな支援が行えるよう情報共有に努める。
- ③ 利用者の日々の安定した生活のために、職員ひとり一人が報告・連絡・相談を意識しながら連携していく。

12、総括

全体的に利用者は落ち着いて過ごせたが、怪我や傷などが多く、職員間で利用者の様子を注意して共有していく一年だった。

職員の体制も大きく変更は無いが、職員の高齢化が進んでいるため、今後は急な欠員を想定して対応していかなければならない。

地域の方と一緒に地域連携推進会議を開催し、グループホームの取り組み内容を共有することができた。利用者、職員と過ごしやすい環境を維持できるように、地域の方とこれからも互いに支え合っていける関係性を築きたい。

モンキーポッド(茅ヶ崎市萩園1602 1階)

1、実施事業

茅ヶ崎市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…茅ヶ崎市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:30～16:00

(6)定員…16名

4、事業収入

	年間
開所日数	286
件数	1,611
障害福祉サービス収入(単位:千円)	16,044

5、利用者構成

(1)利用者数

定員16名、契約者24名(男性15名、女性9名)

(2)年齢構成

12～35歳、平均年齢25.4歳(男性23.9歳、女性28.0歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	21	2	0	1	24			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	1	0	1				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	5	1	1	0	0	1	8	

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
指導員(常)	2	兼務含
指導員(非)	8	兼務含
運転担当職員(非)	3	兼務含
計	14	

7、 会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市自立支援協議会運営会議	4月28日	令和7年度の進行予定確認、5月代表者会議の内容検討
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	5月15日	障がい福祉課からのお知らせ、グループワーク、令和6年度会計報告、令和7年度予算案
自立支援協議会代表者会議	5月16日	令和6年度の報告、基幹相談・地域生活支援拠点整備の検証検討、令和8年度以降に向けて
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	7月15日	茅ヶ崎市からのお知らせ、制度説明会、研修企画のグループワークなど
事業所間交流情報発信部会	8月8日	令和7年度の取り組みについて
自立支援協議会運営会議	9月2日	令和7年度第2回代表者会議に向けて、各部会報告
自立支援協議会代表者会議	9月29日	各部会報告、検証検討(基幹相談支援センター/地域生活支援拠点の機能 取り組み)、次年度以降の自立支援協議会について
事業所間交流情報発信部会	11月7日	9月大交流会の振り返り、意見交換会に向けて、第8期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画にむけたヒアリング
自立支援協議会運営会議	12月17日	1月自立支援協議会・全体会の内容検討、部会報告など
茅ヶ崎市寒川町障がい児者通所事業所連絡会	1月15日	令和8年度の体制案、障害福祉課からのお知らせ、グループワーク
自立支援協議会代表者会議	1月20日	部会報告、令和7年度の振り返りと課題、令和8年度の体制(案)
自立支援協議会事業所間交流・情報発信部会	2月20日	任期2年の振り返り、次年度に向けて課題確認、意見交換会の打ち合わせ
自立支援協議会代表者会議	3月18日	部会報告、第8期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画に向けた意見交換

(3) 面談・モニタリング

なし

(4) 研修・講習

説明会・その他名	開催日	内容
安全運転講習	10月1.3日	火災を想定した避難と通報訓練
発達障害専門相談員によるスキルアップ研修	1月22日	自閉スペクトラム症の方への支援を考える～真逆の感覚とどう向き合うか
トラウマインフォームドケア研修	1月24日	心の傷によって引き起こされる様々な影響について学ぶ
当事者意見交換会「大人になった時のお金のハナシ」	2月27日	生活に必要なとなるお金の流れや、収支に関して

(5) 説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
避難訓練	6月17日	火災を想定した避難と通報訓練
茅ヶ崎市障がい福祉事業所大交流会	9月16,25日	自立支援協議会について 茅ヶ崎市の福祉事業所で働く「人と人」の繋がりを深めて連携した支援環境作りに向けて
地震避難訓練	10月6日	地震を想定した避難訓練を行う

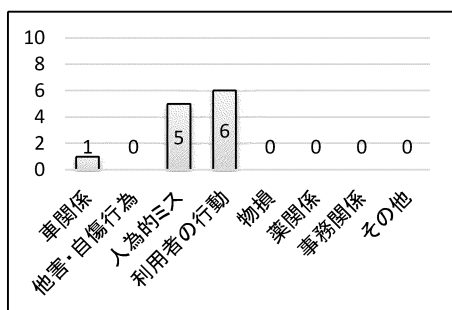
8、行事

なし

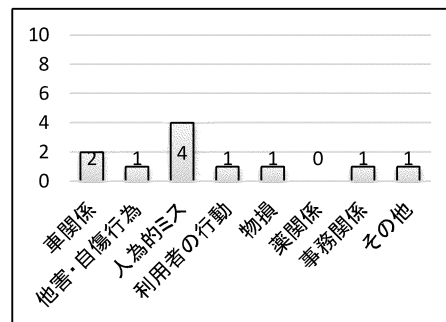
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 12 件



(2) 事故 11 件



10、重点課題

- ① グループホームへ入居する利用者が増えるなど、地域環境の変化にともなったライフステージの移行が重なり収益減少が顕著となった。事業を維持するための対策に取り組んでいきたい。
- ② ライフステージに合わせた福祉サービスの利用や移行に関する情報発信を行うこと。
- ③ 既存の利用者の受け入れを維持できるよう、法人内関係事業所間で情報共有し、人員配置・応援職員の手配等を円滑に行うこと。

11、目標

- ① 日中活動の事業所や相談支援事業所との連携を図り、ご本人の活動場所の確保・ご家族のレスパイトを目的として事業所の稼働を維持する。
- ② 職員の支援スキル向上ならびに、障がい福祉に関する知識を深める。
- ③ 経験や知識をもとに、職員が自ら考えて行動できるような体制作り。

12、総括

夕方の支援は、ニーズがあるが年々厳しい状況が続いている。
新年度4月からは活動場所をからんころん1階に移転する。

人員配置は、変わらず他部署職員の応援配置が必要となっている。

日中活動の事業所や相談支援事業所との連携を今後も継続し、ライフステージの移行については、協力しながら進めていく。

ぶんぶん(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

平塚市移動支援・パーソナルサービス(自費契約)

2、目的

個別の支援を通して、障がいのあるご本人および家族が、地域社会において、より良い生活が送れることを目的とする。

3、事業内容

平塚市移動支援・・・余暇活動や通学、帰宅時等の外出の際の移動サポート
 パーソナルサービス・・・個別のニーズに沿った支援

4、事業収入

(1) 移動支援

	年間
時間数	872
障害福祉サービス収入(単位:千円)	2,021

(2) パーソナルサービス(自由契約)

	年間
時間数	0
障害福祉サービス収入(単位:千円)	0

5、利用者構成

定員:なし/登録者20名(男性14名、女性6名)

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
ヘルパー(常)	1	兼務
ヘルパー(非)	4	兼務含
ヘルパー(派)	1	
計	7	

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	出席者	内容
個別支援検討会議	毎月1回	非常勤派遣	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

なし

(3) 面談・モニタリング

なし

(4) 研修・講習

なし

(5) 説明会・その他

なし

8、行事

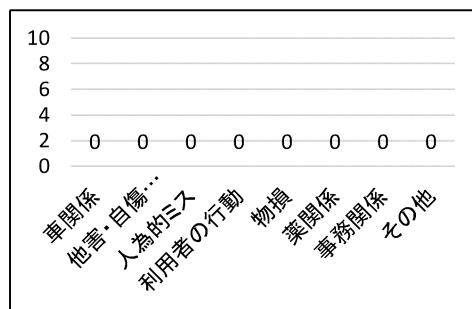
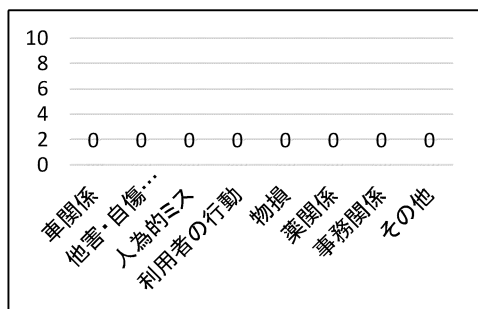
なし

9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはつと 0 件

(2) 事故 0 件



10、重点課題

- ① 職員による支援内容の見直し(マンネリ化による注意不足)
- ② 緊急利用希望者に対応出来る体制確保
- ③ 請求事務処理の効率化(余裕ある見直し時間確保)で誤請求を防止

11、目標

- ① 職員間での情報共有化を実施し、より良い方法を探っていく
- ② 他部署との連携を図り、フォローを得られる体制を構築する
- ③ 請求業務内容を準備、入力、確認を3分割しながら処理を進める

13、総括

事業活動としては利用者、職員ともに減少しており重点課題には繋がらなかったが、職員間で支援内容の情報交換に努め、利用者が満足できる支援を行うことが出来た。

請求業務に関しては、継続して誤請求防止に努める。

えぼハウ(平塚市御殿1-33-21)

1、実施事業

平塚市日中一時支援

2、目的

障害者総合支援法に規定されている、地域生活支援事業の日中一時支援事業を実施する。居宅において障がい者等の介護を行う者の就労、休息その他の理由により、一時的な通所が必要な障がい者等に対して、その活動の場を提供し、見守り、及び集団生活に適応するための支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、余暇支援、等

(1)サービス提供地域…平塚市

(2)対象…市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～土

(4)定休日…日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/通所施設等の利用後～18:00 土曜日/9:00～17:00

4、事業収入

	年間
開所日数	302
件数	1,175
障害福祉サービス収入(単位:千円)	8,114

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者22名(男性14名、女性8名)

(2)年齢構成

16～35歳、平均年齢26.5歳(男性27.4歳、女性25.0歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	16	5	1	0	22			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	2	1	1	1	0	5	

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
ヘルパー(常)	1	兼務
ヘルパー(非)	4	兼務含
ヘルパー(派)	1	
計	7	

7、 会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

なし

(3) 面談・モニタリング

なし

(4) 研修・講習

なし

(5) 説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
避難訓練	6月19日	火災を想定した避難と通報訓練
地震避難訓練	10月10日	地震を想定した避難訓練を行う

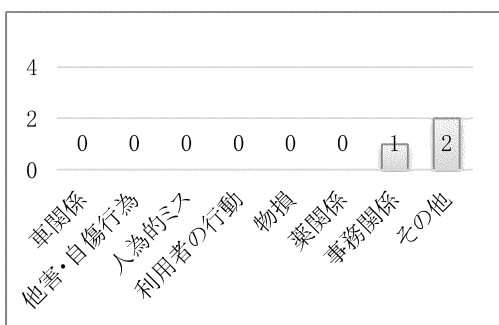
8、 行事

なし

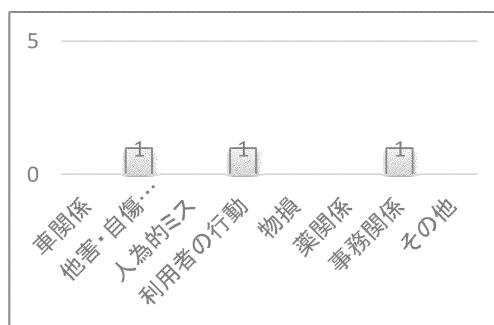
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 3 件



(2) 事故 3 件



10、 重点課題

- ① 支援担当者の確保
- ② 職員間の実力差を軽減させる
- ③ 請求事務処理にゆとりを持てる体制を確保する

11、目標

- ① 職員間で助け合える雰囲気作りを図る
- ② 人員体制の工夫を行う
- ③ 請求情報を判りやすくして、入力誤りを抑止する

12、総括

利用者減少に伴い支援活動にゆとり確保が可能となったが、今期は緊急支援も発生し、他事業所との連携で業務を行ことが出来た。

請求事務においては、データ入力時期を早めて再確認の時間を増やすことに努めた。しかしながら、最終的に請求提出書類との照合誤り事案が発生しているため、確認漏れのないように努める。

ゆうゆうクラブ(平塚市御殿1-7-6)

1、実施事業

放課後等デイサービス

2、目的

児童福祉法に規定される放課後等デイサービス事業を実施する。利用者一人ひとりの目線に合わせた個別支援計画を作成し、それをもとに安全で楽しく過ごせる場所の提供と、集団生活や社会生活のスキルが向上できるよう、必要な支援を行う。

3、事業内容

送迎、身辺介助、創作活動、音楽活動、自由遊び、散歩、ドライブ、外出、プール遊び、おやつ作り、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…中・高等学校に在籍し、市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…月～金

(4)定休日…土曜日・日曜日・祝日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金/学校下校時間～18:00 長期学校休業日/9:30～17:30

(6)定員…10名

4、事業収入

	年間
開所日数	241
件数	2,513
障害福祉サービス収入(単位:千円)	28,305
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	1,133

5、利用者構成

(1)利用者数

定員10名、契約者32名(男性20名、女性12名)

(2)年齢構成

年齢 学年	7歳 小1	8歳 小2	9歳 小3	10歳 小4	11歳 小5	12歳 小6	計
男性	0	0	0	0	0	1	1
女性	0	0	0	0	0	3	3
計	0	0	0	0	0	4	4

年齢 学年	13歳 中1	14歳 中2	15歳 中3	16歳 高1	17歳 高2	18歳 高3	計
男性	1	5	4	4	4	1	19
女性	0	1	1	0	6	1	9
計	1	6	5	4	10	2	28

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	12	14	5	1	32		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	3	1	1	1	2	0	8

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
サービス管理責任者(常)	1	兼務
児童指導員(常)	2	兼務含
支援員(常)	1	兼務
看護師(非)	1	兼務
児童指導員(非)	4	兼務含
運転担当職員(非)	1	
運転担当職員(派)	1	
計	10	

7、会議・面談・研修等

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回 8月除く	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題 検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2)外部会議

会議名	開催日	内容
湘南支援学校事業所連絡会	5月2日	湘南支援学校の放課後支援事業所連絡会
学齢児分科会	6月19日	平塚市自立支援協議会学齢児分科会の定例会議
自立支援協議会学齢児こども部会代表者会	9月、10月	11月の研修に向けた準備
平塚支援学校事業所連絡会	2月3日	支援学校の放課後事業所連絡会

(3)面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
個別面談	5月～12月	44件	定期的利用者個別面談

(4)研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
自立支援協議会虐待防止研修	7月3日	自立支援協議会主催の虐待防止研修
安全運転講習	10月2日	運転適性検査、運転技術の評価
交通安全講習会	10月15日	交通安全指導課による交通安全指導
グループスーパービジョン研修	11月13日	平塚市自立支援協議会子ども部会主催のグループスーパービジョン研修

(5)説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
湘南支援学校プール説明会	6月6日	夏季休業日のプール利用の為の説明会
避難訓練	6月27日	火災を想定した避難と通報訓練
地震避難訓練	10月23日	地震を想定した避難訓練を行う

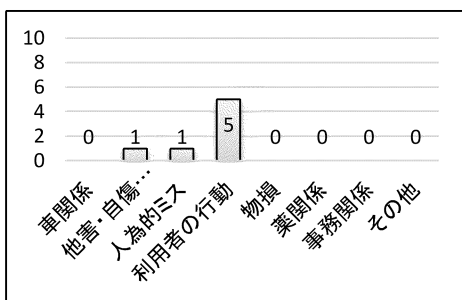
8、行事

行事名	開催日	内容
誕生日会	4月～3月(毎月)	利用者の誕生日をお祝いする
ホール利用	7月～8月	大野公民館ホールで活動する
夏祭り	8月22,25日	ゆうゆうクラブ内で夏祭り
ハロウィンパーティー	10月30,31日	仮装してハロウィンを楽しむ
英語教室	12月、3月	英語教師を招いてレクリエーション
クリスマス会	12月24,25日	ケーキとプレゼントでクリスマスを楽しむ
お楽しみ昼食	1月8日	手作りカレーライスを提供
節分	2月3日	仮装と豆まきを楽しむ
卒業遠足	3月13,24日	今年度卒業生との遠足
卒業生を送る会	3月27,31日	今年度の卒業生の送別会

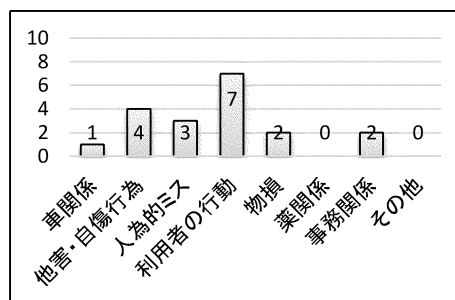
9、苦情・事故・ひやりはつと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはつと 7 件



(2) 事故 19 件



10、重点課題

- ① 利用者の卒業により大幅な利用者減が見込まれることと、市内の放課後等デイサービスの増加により、新規利用者獲得の為には他事業所との差別化を図り、相談支援機関との連携が必要。
- ② 利用者減に合わせた職員体制を取る必要があり、個々の職員の支援力や業務を遂行する力の向上を図りたい。また、法人内の他事業所とも連携を行い、効率的な人員配置を行っていく。
- ③ 施設設備の老朽化が課題となっており、定期的な点検、改修が必要となっている。

11、目標

- ① 新規利用者の獲得を行い、職員体制の確保を行う。相談支援機関や支援学校との連携に加え、事業所内での支援の質の向上と、活動内容の充実も継続して取り組んでいく。
- ② 事業所内での支援検討会議や、法人内外での研修に参加し職員の学習の機会を確保し、スキルアップに繋げていく。
- ③ 利用者、職員が安心して活動を行える環境を確保し、建物などの設備面での課題については必要に応じた改修を行っていく。

12、総括

- ①新規利用者の獲得については、下半期開始頃には一定数の利用者を受け入れることができた。活動内容の充実は、月間のスケジュールを元に担当職員が主体的に企画、立案し、様々な事柄に取り組むことができ、活動の幅が大きく広がった。
- ②限られた時間の中で、支援検討会議や法人内外の研修に参加して職員のスキルアップに努めた。昨年度途中で法人全体で導入したWEB研修についても職員が充分に取り組めるように働きかけを行った。
- ③室内の備品等の整理や教材の見直しなどを意識的に行い、定期的に車両の点検も実施した。

えぼっくハウス(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	5,482
障害福祉サービス収入(単位:千円)	91,153
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	3,899
就労支援事業収入(単位:千円)	114

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者31名(男性21名、女性10名)

(2)年齢構成

19～35歳、平均年齢30.0歳(男性29.6歳、女性30.7歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	25	6	0	0	31		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	3	4	1	4	0	0	12

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	1	3	7	9	20
女性	0	0	0	1	6	4	11
計	0	0	1	4	13	13	31

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
サービス管理責任者(常)	1	兼務
生活支援員(常)	2	兼務含
生活支援員(非)	19	兼務含
看護師(非)	2	兼務含
運転担当職員(非)	1	兼務
運転担当職員(派)	3	
計	26	

7、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2) 外部会議

なし

(3) 面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
モニタリング	7月、12月	2件	近況聞き取り、様子見学
利用者面談	9月、3月	60件	個別支援計画振り返り、目標、ご本人の意思確認
個別面談	11月7日	1件	近況確認

(4) 研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者実践研修	7月22,23日	制度、サービス提供、人材育成の手法、多職種及び地域連携に関する講義及び演習
強度行動障がい支援者養成基礎研修	8月21,22日	強度行動障がいについて基礎知識を学ぶ
相談支援従事者初任者研修	8月26,27日	オリエンテーション、障がいがある人の意思決定について、ケアマネジメントの実践他
安全運転講習	10月1日	運転適性検査、運転技術の評価
安全運転管理者講習	10月8日	・交通事故防止対策について ・道路交通法改正について
交通安全講習会	10月15日	交通安全指導課による交通安全指導

(5) 説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
事業所説明会	5月23日	湘南ひらつか福祉事業所合同説明会
避難訓練	6月26日	火災を想定した避難と通報訓練
学生保護者見学教員見学	7月22,23日	活動・施設見学、卒業生アフターフォロー見学
地震避難訓練	10月21日	地震を想定した避難訓練を行う
施設見学	1月28日	施設見学、施設概要・活動等説明

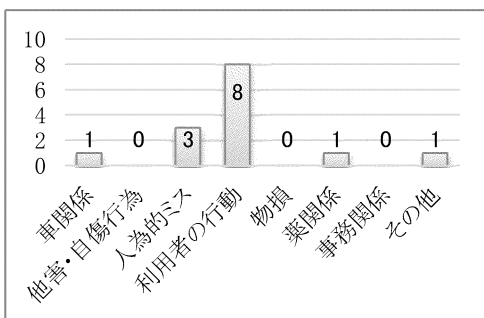
8、行事

行事名	開催日	内容
花見	4月4日	桜見学、ティータイム、記念写真撮影
誕生日夕食	6月4日	市内飲食店にて食事
七夕まつり見学	7月4日	パレード見学、出店での買い物
流しそうめん	7月10日	流しそうめん
ひまわり畑見学	8月8日	ひまわり畑迷路散策
みかん狩り	11月12日	みかん狩り
クリスマス会	12月25日	プレゼント配布、ケーキ作り
成人のお祝い	1月13日	記念品贈呈、夕食
節分	2月3日	豆まき

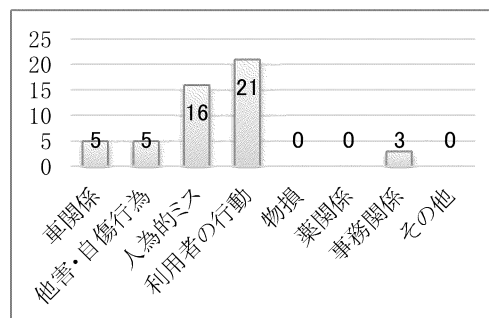
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 1 件

(2) ひやりはっと 14 件



(2) 事故 50 件



10、重点課題

- ① 支援員の育成
支援力の向上、意思決定支援の理解
- ② 活動の充実
イベントの計画と実施(個別・集団)、生産的活動、余暇の過ごし方
- ③ 個別支援計画の充実

11、目標

- ① 支援会議にて意思決定支援について勉強会を実施し理解を深め、実践に生かしていく。
- ② 安全を第一に昨年同様のイベントを含め新たなイベントにも取り組む。
展示即売会への参加を復活する。
- ③ 個別支援計画作成に当たり、意思決定支援を軸に利用者の希望、気持ち、意見を汲み取り、個別支援計画作成会議で情報共有し実行していく。

12、総括

・支援会議に全員参加とはならないが、常勤、非常勤、運転手を含め毎回3分の2の職員の参加があり、ジョブメドレーや実践に役立つ動画の視聴を含め情報共有、意見交換ができた。

・春先、夏場の暑い時期には、頻繁にプール活動を実施した。今年度全員の参加は難しい状況だったが、相模原の障がい者専用プールを利用する等プール活動の幅を広げることが出来た。

・支援計画にご利用者の意思を反映する為、通常活動内の自然な雰囲気の中で、いかにご利用者の意思を汲み取ることができるか、それを会議で共有し、支援で実践することができるかが今後の課題となる。

やなぎこんぶ(平塚市南原1-13-18)

1、実施事業

生活介護

2、目的

障害者総合支援法に規定される生活介護事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な支援を行う。

3、事業内容

食事及び排泄等の介助、創作的活動又は生産活動、外出、買い物練習、等

- (1)サービス提供地域…平塚市・その他
- (2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方
- (3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)
- (4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)
- (5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00
- (6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	1,835
障害福祉サービス収入(単位:千円)	30,606
補助金事業収入(単位:千円) (障害者地域サポート事業)	342
就労支援事業収入(単位:千円)	42

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者11名(男性8名、女性3名)

(2)年齢構成

22～35歳、平均年齢29.7歳(男性30.5歳、女性27.7歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計			
療育手帳(神奈川県)	6	5	0	0	11			
等級	1級	2級	3級	計				
精神障害者保健福祉手帳	0	0	0	0				
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計	
身体障害者手帳	0	0	0	0	0	0	0	

(4)男女区分の内訳

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0	0	2	3	3	8
女性	0	0	0	0	2	1	3
計	0	0	0	2	5	4	11

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	兼務
サービス管理責任者(常)	1	兼務
生活支援員(常)	1	兼務
生活支援員(非)	5	兼務含
看護師(非)	1	兼務含
計	9	

7、会議・面談・研修等

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2)外部会議

なし

(3)面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
モニタリング	7月3日	1件	担当利用者の見学、聞き取り
利用者面談	9月、2月、3月	32件	個別支援計画振り返り、目標、ご本人の意思確認

(4)研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
安全運転講習	10月1日	運転適性検査、運転技術の評価
安全運転管理者講習	10月8日	交通事故防止対策について 道路交通法改正について
交通安全講習会	10月15日	交通安全指導課による交通安全指導

(5)説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
見学	4月6,21,25日	事業所概要説明、活動・施設見学
事業所説明会	5月23日	湘南ひらつか福祉事業所合同説明会
避難訓練	6月25日	火災を想定した避難と通報訓練
学生保護者見学教員見学	7月22,23日	活動・施設見学、卒業生アフターフォロー見学
地震避難訓練	10月21日	地震を想定した避難訓練を行う

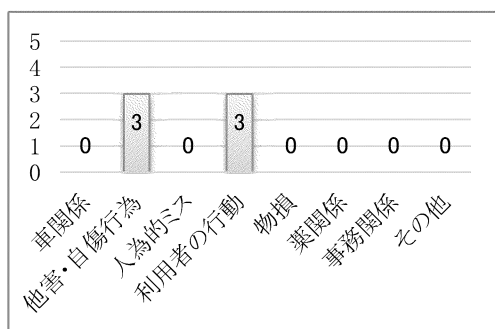
8、行事

行事名	開催日	内容
花見	4月4日	桜見学、ティータイム、記念写真撮影
七夕まつり見学	7月4日	パレード見学、出店での買い物
流しそうめん	7月10日	流しそうめん
ひまわり畑見学	8月8日	ひまわり畑迷路散策
みかん狩り	11月12日	みかん狩り
クリスマス会	12月25日	プレゼント配布、ケーキ作り
節分	2月3日	豆まき

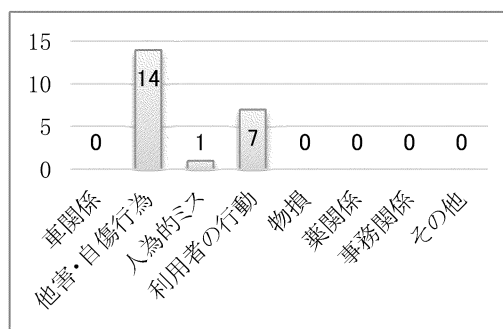
9、苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 6 件



(2) 事故 22 件



10、重点課題

- ① 支援員の育成
支援力の向上、意思決定支援の理解
- ② 活動の充実
イベントの計画と実施(個別・集団)、生産的活動、余暇の過ごし方
- ③ 個別支援計画の充実

11、目標

- ① 支援会議にて意思決定支援について勉強会を実施し理解を深め、実践に生かしていく。
- ② 安全を第一に昨年同様のイベントを含め新たなイベントにも取り組む。
展示即売会への参加を復活する。
- ③ 個別支援計画作成に当たり、意思決定支援を軸に利用者の希望、気持ち、意見を汲み取り、個別支援計画作成会議で情報共有し実行していく。

12、総括

- えぼっくハウスと合同で支援会議を実施することで幅広く情報の共有ができています。ジョブメドレーや実践に役立つ動画の視聴を含め有意義な意見交換もできました。
- 昨年度1月に新拠点、南原コインランドリー跡地へ移転したが、混乱する事もなくスムーズに拠点を移すことができました。夏場の暑い時期には、安全を第一に個別対応でプール活動を実施した。
- 支援計画にご利用者の意思を反映する為、通常活動内の自然な雰囲気の中で、いかにご利用者の意思を汲み取ることができるか、それを会議で共有し、支援で実践することができるかが重要になる。

キャロット工房(平塚市西真土1-7-56)

1、実施事業

就労継続支援B型

2、目的

障害者総合支援法に規定される就労支援B型事業を実施する。利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ち、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な支援を行う。

3、事業内容

生産活動、外出、等

(1)サービス提供地域…平塚市・その他

(2)対象…18才以上で市町村より支給決定を受けた方

(3)開所日…原則として月曜日～金曜日(事業所カレンダーによる)

(4)定休日…土曜日・日曜日(夏季休業・年末年始休業あり)

(5)サービス提供時間…月～金9:00～16:00

(6)定員…20名

4、事業収入

	年間
開所日数	253
件数	4,718
障害福祉サービス収入(単位:千円)	44,715
就労支援事業収入(単位:千円)	13,786

5、利用者構成

(1)利用者数

定員20名、契約者22名(男性15名、女性7名)

(2)年齢構成

19～33歳、平均年齢26.4歳(男性26.6歳、女性26.0歳)

(3)手帳の内訳

等級	A1	A2	B1	B2	計		
療育手帳(神奈川県)	4	11	6	1	22		
等級	1級	2級	3級	計			
精神障害者保健福祉手帳	1	0	0	1			
等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
身体障害者手帳	0	0	1	1	0	0	2

(4)男女区分の内訳

区分	区分無	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	2	0	0	0	10	3	0	15
女性	0	0	0	4	2	1	0	7
計	2	0	0	4	12	4	0	22

6、職員体制

職名	人数	備考
管理者(常)	1	
サービス管理責任者(常)	1	
職業指導員(常)	2	兼務含
生活支援員(常)	3	兼務含
生活支援員(非)	3	兼務含
計	10	

7、 会議・面談・研修等

(1)内部会議

会議名	開催日	内容
個別支援検討会議	毎月1回	情報共有、支援内容の検討、日々の業務の課題検討、ひやりはっと・事故報告の振り返り

(2)外部会議

なし

(3)面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
ご家族と面談	7月,3月	13件	利用者現状報告及び今後の対応について

(4)研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者実践研修	8月21,22日	制度、サービス提供、人材育成の手法、多職種及び地域連携に関する講義及び演習
	9月16,17日	
安全運転講習	10月2日	運転適性検査、運転技術の評価
安全運転管理者講習	10月8日	交通事故防止対策について 道路交通法改正について

(5)説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
見学	4月9日	他事業所職員来訪(作業見学)
事業所説明会	5月23日	湘南ひらつか福祉事業所合同説明会
避難訓練	6月24日	火災を想定した避難と通報訓練
見学	8月5,20日	活動、作業見学
地震避難訓練	10月20日	地震を想定した避難訓練を行う

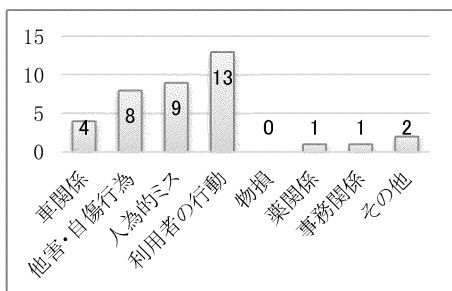
8、 行事

行事名	開催日	内容
パソコン寄付受け入れ	4月,11月	湘南ベルマーレ公式戦前イベント
自実習生受入	6月,10月	学生による職場体験実習
出張解体	通年	引き取り先にてパソコン解体
リフレッシュ外出	7月11日	トランポリン体験
お楽しみ外出	10月22日	プラネタリウム観覧
節分	2月3日	豆まき
見学者受入	2月～3月	事業所内や作業内容の見学

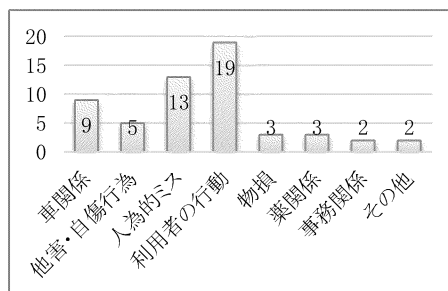
9、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 2 件

(2) ひやりはっと 38 件



(2) 事故 56 件



10、重点課題

- ① キャロット工房が利用者の居場所となるよう、適切な支援を行っていく。
- ② 利用者が安心して作業に取り組めるよう、常に作業場の整理整頓に努める。
- ③ 個別支援計画を通じて利用者一人一人の意向を組み込んだ支援ができるよう、職員同士の連携を深めていく。

11、目標

- ① キャロット工房が利用者にとって円滑なコミュニケーションの場となり、利用者の作業のモチベーションが向上するような支援、環境作りを目指す。
- ② 日々の作業の取り組みを着実に積み重ね、社会の一員として企業・学校・地域との信頼を得ていく。
- ③ リフレッシュとして季節に応じた行事を実施していく。

12、総括

- 1 言葉に敏感な利用者に対しては、会話のやり取りは言葉遣いに配慮したり、不定期ではあるが、昼休憩時に柔軟体操や縄跳びなどでリラックスしたり、利用者がくつろいで過ごせるよう工夫をした。
また、季節に応じた行事、一日がかりでリフレッシュ外出も実施したことは利用者から高評価だった。
- 2 作業場の整理については常に整理整頓を心掛け、保管用の倉庫も増やしたが、パソコン解体に伴う物品数が多く、作業場に物があふれてしまう状況も多々あった。
- 3 個別支援計画・面談内容を職員間で共有し、気になることがあれば現場の中で報告・連絡・相談を繰り返して実施した。今後も継続して意識的に取り組むことが必要。

トムトム相談室(平塚市南原2-4-5マイズビル1階)

1、実施事業

計画相談支援・障害児相談支援

2、目的

サービス等利用計画についての相談及び作成などの支援を行うことにより、ハンディキャップのある方々及びご家族の自立した生活を支え、抱える課題の解決や適切なサービスを利用できるようにすることを目的とする。

3、事業内容

(1) 計画相談支援

① サービス利用支援

サービス等利用計画の作成など

② 継続サービス利用支援

モニタリングの実施、サービス等利用計画の見直し、変更など

(2) 障害児相談支援

① 障害児支援利用援助

障害児支援利用計画の作成など

② 継続障害児支援利用援助

モニタリングの実施、障害児支援継続利用計画の見直し、変更など

4、事業収入

(1) 計画相談支援

	年間
サービス利用支援件数	66
サービス継続支援件数	254
障害福祉サービス収入(単位:千円)	5,087

(2) 障害児相談支援

	年間
サービス利用支援件数	0
サービス継続支援件数	9
障害福祉サービス収入(単位:千円)	152

5、職員体制

常勤職員2名(管理者1名(他兼務)、相談支援専門員1名)

6、会議・面談・研修等

(1) 内部会議

なし

(2) 外部会議

会議名	開催日	内容
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	5月20日	今年度活動予定、新規事業所紹介、居宅介護事業所連絡会との課題共有など
サービス調整会議	6月18日	川崎市麻生区に転居する利用者のサービス調整会議
移行支援会議	6月24日	弘済学園入所利用者の移行支援会議
茅ヶ崎市相談支援事業所連絡会	8月19日	相談支援での悩みごとの共有(小グループでの話し合い)
	8月,10月	グループスーパービジョンの手法を用いた事例検討
	2月17日	新事業所挨拶、個別避難計画について、R8年度連絡会予定について、他

(3) 面談・モニタリング

種別	開催日	件数	内容
利用者面談	4月～3月	330件	平塚市、茅ヶ崎市、寒川町、二宮町の利用者面談

(4) 研修・講習

研修・講習名	開催日	内容
相談支援どうしたらいい？	12月7日	親はどう考えればいいのか？相談支援事業所はどうすれば？ 講師：又村あおい氏

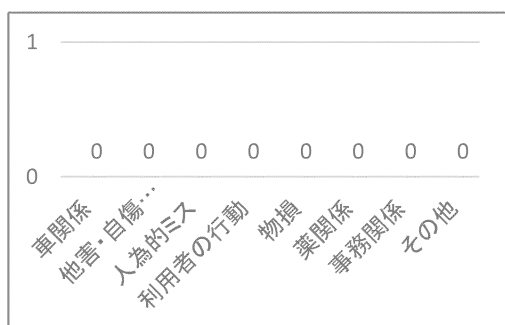
(5) 説明会・その他

説明会・その他名	開催日	内容
平塚市障がい福祉課・災害対策課合同説明会	12月26日	地域生活支援拠点等緊急時対応強化事業について、個別避難計画の作成支援について

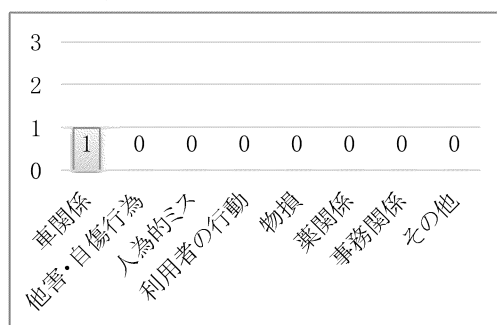
7、 苦情・事故・ひやりはっと報告

(1) 苦情 0 件

(2) ひやりはっと 0 件



(2) 事故 1 件



8、重点課題

<茅ヶ崎支部>

- ① 利用者の意思を尊重し本人が暮らしやすいサービスが利用できるよう、地域で活用できる資源情報を収集し利用者・ご家族へ発信していく。
- ② 連絡会・研修などを通じて地域の行政や他の関係機関との連携を強化していく。
- ③ 年々、ご家族の高齢化などによってご家庭での支援が厳しくなっている状況で、ご本人・ご家族の意向の聞き取りとサービスのマッチングを行う。

<平塚支部>

- ① 支援度の高い方が自宅以外で生活する場が少ない。グループホームの支援にも限界があり、使える利用者は限られている。新たな社会資源も考えていくことが必要。
- ② 障がい者の権利擁護が求められる中で、自ら意思を決定することに困難な方が、どのような支援をすれば自らが意思決定できるか、または支援者が意思を推測できるか。
- ③ 研修や相談連絡会などを通して、相談員としての質の向上と他機関との連携の強化を図る。

9、目標

<茅ヶ崎支部>

- ① 地域の資源を利用し、ご家庭以外での暮らしへの移行や体験が出来るようサポートする。
- ② 研修会等に積極的に参加し、情報収集をする
- ③ 各関係機関と引き続き情報共有しながら多様なニーズに合ったサービスに繋げるよう調整していく

<平塚支部>

- ① サービス担当者会議にはなるべくご本人やご家族に参加してもらい、ご本人の意思が支援計画に反映されることを目指す。
- ② 新たに計画相談の依頼を受けるが、職員体制の問題もあり受けられないケースも多い。業務の効率化を図るなどしてニーズに応えたい。
- ③ 利用者や家族のニーズも多様化している。それぞれのケースに対応できるよう、相談員としての技術を高めたい。

10、総括

・利用者本人とご家族が年齢を重ねるにつれ、利用者の自宅以外での生活に向けて動き出すご家庭が増えている。実際には日中サービス支援型のグループホームの利用ということになるが、ニーズに合わないケースも見られる。入所施設を希望される方が多く、サービスの調整が難しくなっている。

・利用者のニーズや問題は多様化しており、ひとつのサービスやひとりの相談員での対応では難しいケースが増えているため、関係者と連携して様々な社会資源を活用していくことが重要になっている。

・新たに相談支援専門員の仕事に就いた職員がいるので、引き継ぎなど丁寧に行いスムーズに業務が行えるよう環境を整えている。

特定非営利活動法人トムトム

別紙1: 令和7年度組織図

		総会				監事	
		理事		理事長			
部長	総務部長	事業部長					
管理者		茅ヶ崎支部			平塚支部		
エリア	本部	茅ヶ崎市 モンキーポッド	茅ヶ崎市 あいあいクラブ	茅ヶ崎市 からんころん	茅ヶ崎市 とむ郎	平塚市 トムトム相談室	平塚市 えぼつくハウス
事業所名	総務部	茅ヶ崎市 日中一時支援	茅ヶ崎市 放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 生活介護	茅ヶ崎市 共同生活援助	平塚市 えぼつくハウス	平塚市 えぼつくハウス
サービス名	経理・労務・庶務	茅ヶ崎市 日中一時支援	茅ヶ崎市 放課後等デイサービス	茅ヶ崎市 生活介護	茅ヶ崎市 共同生活援助	平塚市 えぼつくハウス	平塚市 えぼつくハウス
分室							
職員配置	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 嘱託 常勤	非常勤 嘱託 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤	非常勤 常勤

職員:	
常勤	27名
嘱託	2名
非常勤	68名
派遣	5名
合計	102名
令和8年3月末日時点	